

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市下京区貞安前之町ホテル計画	階数	地上9F、地下4階
建設地	京都市下京区寺町通四條下る貞安前之町620番地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	341 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、ホテル、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年12月17日
敷地面積	1,323.95 m ²	作成者	西村 翼
建築面積	889.50 m ²	確認日	2018年12月21日
延床面積	6,885.45 m ²	確認者	服部 剛



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 京都市下京区に、寺院と住宅を併設したホテルを新築する計画である。1・2階の外観には格子を用いて京らしさを演出している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 化学汚染物質について内装材には全面的に規制対象外、告示対象外の建材を採用している。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い内外装材、ダクト、配管などを採用し建物耐用性の向上に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 景観地区にあり、景観法の認定を受けている。また雨宿りが可能な庇を設けることで、アメニティ向上に貢献している。
LR1 エネルギー LED等高効率設備を採用しエネルギー消費量の削減を図った。	LR2 資源・マテリアル ユニット部材OAフロアを採用することで、部材再利用性の向上に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される